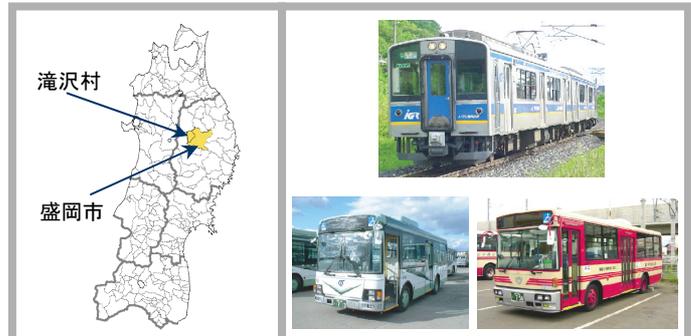


盛岡市・滝沢村(岩手県):IGR・バス乗継通勤定期券/すご e-きっぷ 鉄道とバスの異事業者連携による割引乗車券の設定

| | | | |
|----------|--|----------|---------------------------------------|
| 人口 | 307,746 人 (盛岡市) 53,560 人 (滝沢村) | モード | 乗継改善・ 複数モード |
| 面積 | 886.47 km ² (盛岡市) 182.32 km ² (滝沢村) | 法令 | — |
| 人口 密度 | 339.26 人/km ² (盛岡市) 293.77 人/km ² (滝沢村) | 運営 主体 | IGR いわて 銀河鉄道・ 岩手県交通・ 岩手県北自動車 |



■ 取組の背景

地域と交通の状況

【道路交通渋滞】

- 盛岡市では中心市街地の渋滞が深刻な問題であった。オムニバスタウン事業の実施により改善の兆しは現れたものの、特に降雪など路面状況が悪くなる冬季には、市内の主要道路では依然として、朝夕を中心に激しい渋滞が発生し、満員バスに長時間閉じ込められる状況も多かった。そこで渋滞に左右されない鉄道と市内をきめ細かく走るバスを経済的に組み合わせる方法の実現が求められていた。
- 一方滝沢村は盛岡市に隣接し、盛岡市への通勤、通学、買物等の移動ニーズが高いものの、公共交通の利便性は必ずしも高いとは言えない。

活用メニュー(制度・協議会等)

- 盛岡市と滝沢村は、住宅地に隣接する鉄道駅から盛岡市中心部の主要駅である盛岡駅まで、さらにそこから中心市街地までの移動をバスを利用するという移動モデルを実現することを目的に、鉄道事業者とバス事業者という異事業者連携による割引乗車券の開発を事業者に対して打診した。

■ 実現したサービス

サービス内容

【乗継運賃】

- IGR いわて銀河鉄道と岩手県交通(県交通)、岩手県北自動車(県北バス)が連携した乗継割引通勤定期と、乗継乗車券が平成 19 年 4 月に発売された。
- 乗継割引通勤定期は、青山駅(盛岡市)～盛岡駅間の鉄道から盛岡駅前～盛岡バスセンター間のバスを乗継ぐ通勤定期券。
- 乗継乗車券(すご e-きっぷ)は、菓子駅(滝沢村)～盛岡駅間の鉄道から盛岡市中心部のバスを乗継ぐ切符。
- 平成 19 年 4 月から 1 年間の実証実験の予定であったが、平成 21 年 3 月 31 日まで延長された。

➤ 青山駅(盛岡市)からの乗継通勤定期券

- IGR いわて銀河鉄道と県交通の乗継通勤定期券は 1 ヶ月 10,000 円、3 ヶ月 28,500 円、6 ヶ月 54,000 円で 27%割引となる。
- IGR いわて銀河鉄道と県北バスの通勤定期券は 1 ヶ月 9,000 円、3 ヶ月 25,650 円で、26%割引となる。

➤ 菓子駅(滝沢村)からの乗継乗車券(すご e-きっぷ)

- IGR いわて銀河鉄道と県交通・県北バスおよび都心循環バス「でんでんむし」が 1 日乗り放題で 800 円となる。
- 通常の運賃は、往復で 920～1,000 円である。

■ 効果と負担

効果

【利便性向上】

- 平成 19 年度、乗継通勤定期券は 73 枚、すご e-きっぷは 2,340 枚発売された。鉄道とバスの乗継割引により利便性が向上した。

負担

【公的補助なし】

- 盛岡市および滝沢村は公共交通の利用促進の必要性から、合意形成などの取り組みを進めたが、補助金などの公的支出はしていない。

■ プロセスと調整

交通事業者との調整

【調整: 対事業者】

- 平成 17 年 8 月に実施した盛岡市民意識調査では、マイカーを利用している人の 24.6%は「条件を整えば他の公共交通手段に変える」と答え、その条件として「運賃が安くなる」を挙げている。このことから盛岡市では鉄道・バスの乗継割引乗車券の実現を目指すこととして、交通事業者との調整を行った。
- 当初盛岡市が、IGR いわて銀河鉄道、県交通、県北バスに働きかけて検討を行い、そこに滝沢村が加わる形で検討が進められた。
- 最終的な割引乗車券の設定条件等は、事業者同士の調整によって行われた。

■ 創意工夫・知見・教訓

異なる交通機関同士の連携

【知見: 関係者との良好な関係】

- 系列関係にない鉄道事業者とバス事業者が連携を図り、より経済的な公共交通サービスの提供し、利用促進を図ろうとしているのは、全国でも珍しい事例である。公共交通のサービス向上により道路渋滞の解消や、公共交通の利用促進を図ろうとする行政の取組みに対し、交通事業者が割引乗車券の設定という具体的な形で協力を行った。

■ 連絡先、参考 URL 等

連絡先：盛岡市建設部交通政策課 電話 019-651-4111
滝沢村都市整備部道路課 電話 019-684-2111

参考 URL：IGR いわて銀河鉄道プレス資料

<http://www.igr.jp/Release/20070302trainbus/Release20071226trainbusticket.htm>

岩手県交通 <http://www.iwatekenkotsu.co.jp/sugoe-kippu.htm>

岩手県北自動車 <http://iwate-kenpokubus.seesaa.net/article/78597981.html>

■ 資料編

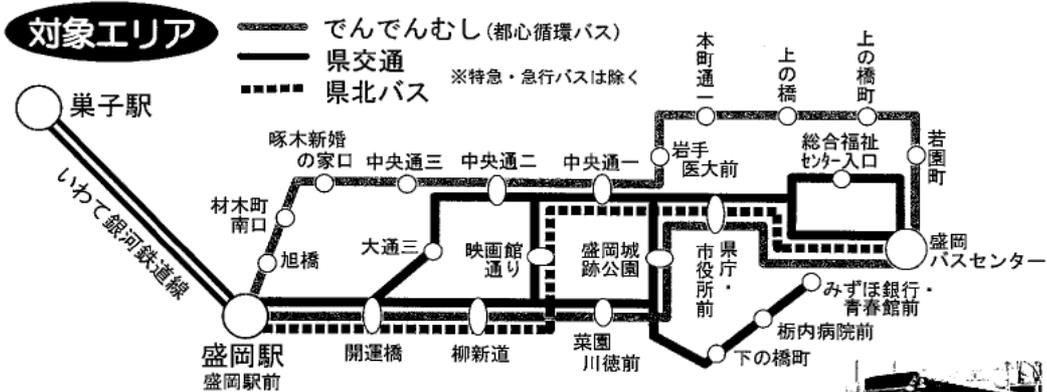
冬の通勤はやっぱり 列車+バスが便利です！

スゴイ すごe-きっぷ 好評発売中

いわて銀河鉄道の巣子駅⇄盛岡駅間と
盛岡駅前⇄盛岡バスセンター間のバス

1日乗り放題で **800円!** **400円!** こどもは半額

○ 通常の片道運賃
I G R 360円
県北バス 100円
県交通 140円
(でんでんむし100円)
往復1,000~920円



対象エリアの列車・バスは **乗り降り自由!**



渋滞知らずの鉄道と目的地の近くまで行けるバス
がタイアップした、便利でおトクなきっぷを発売中!
お買物・通院などのお出かけに、是非ご利用ください!



- 速い!** 巣子駅⇄盛岡駅は列車で最速12分
クルマより早く都心にアクセス!
- 安い!** マイカーよりもお得!
駐車場代、ガソリン代等を考えると...
- 安心!** 交通事故を起こすリスクが減少
時間も正確です!

☆発売・使用期間
[1年間の実証実験→1年間延長します!]
~平成20年3月31日→21年3月31日
(利用当日のみ発売)

☆発売場所
I G R 巣子駅~盛岡駅の各駅
(窓口営業時間外は、I G R 盛岡駅でお買い求め
ください。)

人に、街に、地球に優しい公共交通を利用しましょう!

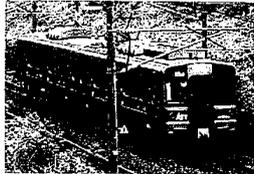


図. すごe-きっぷの案内

出典: IGR いわて銀河鉄道ホームページ

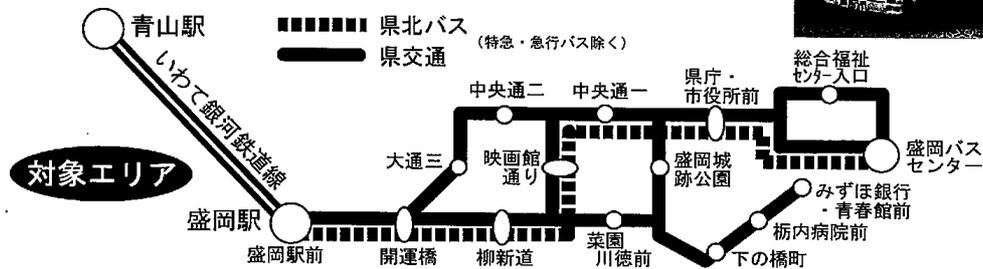
■ 資料編

冬の通勤はやっぱり 列車+バスが便利です！



いわて銀河鉄道線の青山駅⇄盛岡駅間と
盛岡駅前⇄盛岡バスセンター間のバスを
利用できる乗継割引通勤定期券を発売中！

渋滞知らずの鉄道と、バスでの都心アクセスが合体した、
とってもお得で便利な定期券。是非ご利用ください！



IGRの通賃(1ヶ月8,250円)に、ちょっと加えてバスが乗り放題に！

IGR+岩手県北バス 26%割引 ※県交通には乗車できません

1ヶ月 9,000円 通常12,150円
3ヶ月 25,650円 通常34,640円



IGR+岩手県交通 27%割引 ※県北バスには乗車できません

1ヶ月 10,000円 通常13,710円
3ヶ月 28,500円 通常39,080円
6ヶ月 54,000円 通常74,030円

速い! 青山駅⇄盛岡駅は列車で最速4分
クルマより早く都心にアクセス！

安い! マイカー通勤よりお得！
駐車場代、ガソリン代等で1万数千円に。
仮に150万円の車を使う場合、1ヶ月の出費は平均5万円とも。
(岩手県HPより)

安心! 交通事故を起こすリスクが減少
時間も正確です！

人に、街に、地球に優しい公共交通を利用しましょう！

- 発売期間
[1年間の実証実験→1年間延長します！]
～平成20年3月31日→21年3月31日
(利用開始日の前日から購入できます。)
- 発売箇所
IGR盛岡駅・青山駅
- 留意事項
・対象エリア以外の路線には乗車できません。
(都心循環バス『でんでんむし』は対象エリア内のみ
利用可能です。)
・乗り降りの際は必ず係員にお見せください。



図. 乗継通勤定期券の案内

出典: IGR いわて銀河鉄道ホームページ